

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	ET	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	3 年	派遣国	フィンランド
派遣大学	オウル大学		
期 間	2025 年 8 月 26 日～ 2026 年 5 月 31 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 () 4 人部屋					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (6 7 0 0 0) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (5) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	1 0 0 0 0 円	朝ごはん、ディナー
学用品購入費	円	
交通費	1 0 0 0 0 円	バスがすごく高い
交際費	円	
その他	? 円	洋服、日用品

合計

2 0 0 0 0 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ド田舎なので静かで人がいない

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(110000) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

<p>滞在都市／町 (Oulu)</p> <p>私が滞在した都市は、フィンランド北部にあるオウル（Oulu）である。オウルは人口約 21 万人のフィンランド第 5 の都市で、教育や研究、ICT 産業が発展している学生都市として知られている。世界各国から留学生が集まり、国際的な環境で学ぶことができる点が特徴である。</p> <p>また、自然が豊かで、冬には雪景色、夏には白夜に近い現象を楽しむことができる。市内は自転車道や公共交通機関が整備されており、生活しやすい環境が整っている。自然と先端技術が調和した、魅力ある都市である。</p>

【学業編】

1. 大学情報

大学	オウル大学 (University of Oulu)	所在地	Pentti Kaiteran katu 1, 90570 Oulu, Finland
最寄空港	オウル空港 (Oulu Airport)	空港からの距離	約 15km
空港⇄大学	(バス・タクシー (約 20～30 分)) *移動手段		
学生数	約 17,000 人	留学生数	約 3,000 人
学部	Faculty of Biochemistry and Molecular Medicine (生化学・分子医学部) Faculty of Education and Psychology (教育・心理学部) Faculty of Humanities (人文学部) Faculty of Information Technology and Electrical Engineering (情報技術・電気工学部) Faculty of Medicine (医学部) Faculty of Science (理学部) Faculty of Technology (工学部) Oulu Business School (ビジネススクール・経営学部)		
	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Oulu Business School (ビジネススクール) 専攻: Business Administration (経営学)		
	*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		<i>Grasping and Developing Business Opportunities</i>		<i>Grasping and Developing Business Opportunities</i>	
午後	<i>Internationalization</i>	<i>Towards Sustainable Future</i>	<i>Internationalization</i>	<i>Towards Sustainable Future</i>	<i>Internationalization</i>

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		<i>International Brand Marketing</i>	<i>International Brand Marketing</i>	<i>International Brand Marketing</i>	
午後	<i>Building Business Through Creativity and Collaboration</i>	<i>Strategic Marketing Management</i>	<i>Building Business Through Creativity and Collaboration</i>	<i>Strategic Marketing Management</i>	<i>Building Business Through Creativity and Collaboration</i>

3. 履修内容

科目	Internationalization		
履修期間	1 semester	単位数	5
授業内容／形態	国際ビジネスの基本概念や企業の国際化プロセスについて学ぶ。グローバル化の背景や国際展開を進める要因、EUなどの地域統合、産業・サービス分野における国際化、文化・制度が国際ビジネスに与える影響について扱う。また、輸出、ライセンス、フランチャイズ、戦略的提携、海外直接投資など、企業の海外展開方法を比較・分析する。さらに、国際化に伴う環境問題や社会的課題について考察し、持続可能な国際ビジネスについて学ぶ。		
成績	3		
YCU 振替予定	科目	多国籍企業論	
	単位数	2	
	担当教員	橋本 倫明	

科目	Principles of Marketing		
履修期間	2 semester	単位数	5
授業内容／形態	マーケティングの基本概念や企業活動における役割について学ぶ。マーケティング戦略、消費者行動、サステナブルマーケティング、BtoBマーケティング、マーケティングコミュニケーション、デジタルマーケティング、流通チャネルなど幅広い分野を扱い、顧客視点から企業のマーケティング活動や意思決定を評価する力を養う。		
成績	1		
YCU 振替予定	科目	マーケティング論	
	単位数	2	
	担当教員	柴田 典子	

科目	Exercising Entrepreneurship		
履修期間	2 semester	単位数	5
授業内容／形態	アントレプレナーシップの視点から、ビジネス機会の発見や事業課題の解決方法について学ぶ。ビジネス環境分析、事業計画、ビジネスモデル、市場・顧客管理、ブランディング、財務・経営資源管理など起業に必要な知識を扱い、個人・グループ活動を通じてデータ分析、ビジネスアイデアの具体化、プレゼンテーション、フィードバックへの対応力を養う。		
成績	pass		

YCU 振替予定	科目	アントレプレナーシップ論
	単位数	2
	担当教員	伊藤 智明

科目	Building Business Through Creativity and Collaboration		
履修期間	2 semester	単位数	2
授業内容／形態	創造性の観点からアントレプレナーシップについて学び、既存の価値観や常識を問い直し、新たなビジネスモデルや革新的な解決策を創出するための考え方や手法を扱う。リーダーシップやビジョン構築、不確実性・リスクへの対応、失敗から学ぶレジリエンスについて学び、デザイン思考のアプローチやツールを活用して新たな事業を創出するプロセスを理解する。		
成績	3		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Building Change Through Entrepreneurship		
履修期間	2semester	単位数	5
授業内容／形態	起業と新規事業創出の基礎を体系的に学び、事業機会の発見から起業準備までのプロセスを扱う。アイデア創出、事業可能性分析、ビジネスモデル構築、チーム形成、営業・販売戦略、競争対応、資金調達、事業計画書作成、プレゼンテーションなど、起業に必要な知識と実践的手法を学ぶ。また、スタートアップの成長課題や収益性、マーケティング、リーダーシップ、社会・倫理的側面についても考察する。		
成績	5		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 B）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Entrepreneurship for Sustainability		
履修期間	1semester	単位数	5

授業内容／形態	持続可能性の視点からアントレプレナーシップについて学び、社会的課題の解決に向けた責任ある事業活動について考察する。問題解決力、創造性、コミュニケーション力、ネットワーク構築力、リスク対応力、適応力など、持続可能な起業家に必要な知識・スキルを学ぶ。また、個人の強みや価値観、SDGs を基に持続可能なビジネスアイデアを考案・分析し、起業やビジネスが持続可能な社会の実現にどのように貢献できるかを考察する。	
成績	5	
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 C）
	単位数	2
	担当教員	

科目	Strategic Marketing Management		
履修期間	1semester	単位数	5
授業内容／形態	持続可能な戦略的マーケティング・マネジメントについて学び、市場環境の分析からマーケティング戦略の立案・実行までのプロセスを扱う。市場分析、顧客価値提案、マーケティング・コミュニケーション、ビジネスモデル・イノベーション、責任あるマーケティングなどを学び、企業・事業部・機能レベルの戦略やグローバル・ローカルな視点から持続可能なマーケティング戦略を考察する。企業事例を用いたケース分析や PBL、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、分析力・論理的思考力・実践的なコミュニケーション能力を養う。		
成績	4		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 D）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Towards Sustainable Future		
履修期間	1semester	単位数	5
授業内容／形態	企業の社会的責任（CSR）や持続可能性の観点から、企業と社会の関係や企業が果たす役割について学ぶ。循環型経済、共有価値の創造（CSV）、SDGs などの概念を扱い、責任ある企業活動への応用方法を学ぶ。また、企業事例の分析を通じて、グローバルなビジネス環境における社会的課題や責任ある企業活動について批判的に考察し、自らの考えを論理的に表現する力を養う。		

成績	5	
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 E）
	単位数	2
	担当教員	

科目	Entrepreneurship and Emerging Technologies		
履修期間	通年	単位数	5
授業内容／形態	ブロックチェーン技術を活用したビジネス事例を通じて、ビジネス課題の分析や解決方法について学ぶ。ブロックチェーンの活用可能性や新たなビジネス機会、ビジネスモデルやエコシステムの考え方を扱う。また、企業事例のケース分析を通じて、課題解決力や事業機会を評価する能力を養う。		
成績	3		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 F）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Grasping and Developing Business Opportunities		
履修期間	1semester	単位数	5
授業内容／形態	起業の基本概念や起業家精神について学び、さまざまな起業形態やビジネスプロセス、新たなビジネス機会の発見・創出方法を扱う。テクノロジー、デジタルプラットフォーム、スマートシティ、AI などから生まれるビジネス機会に焦点を当て、変化の激しい環境への適応力や自身の強みを活かした事業創造について学ぶ。また、チーム形成や協働の方法を通じて、将来のビジネス環境で必要な知識・スキルを養う。		
成績	4		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 G）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Introduction to Business Analytics		
履修期間	2semester	単位数	5

授業内容／形態	ビジネスアナリティクスの基礎と、データを活用したビジネス価値の創出について学ぶ。データの収集・管理、データガバナンス、規制・倫理的課題を扱い、データ分析を企業の意思決定や業務改善、事業開発につなげる方法を学ぶ。また、「テクノロジー」「データ」「人」「プロセス」の4要素を軸に、デジタルトランスフォーメーション、分析手法、ビジネスアナリストの役割、データ戦略・管理について理解を深める。	
成績	1	
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 H）
	単位数	2
	担当教員	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学生生活全体を通して最も大きく学んだことは、新しい環境に適応するためには、待っているのではなく、自分から行動することが大切だということです。

留学当初の私は、英語力に自信がなく、周りの留学生とうまくコミュニケーションを取ることができずに悩んでいました。特に最初の 3 か月は、相手の話していることを十分に理解できなかったり、自分から話しかけることをためらったりすることが多く、「せっかく留学に来たのに、このままでいいのだろうか」と感じていました。

しかし、この状況を変えるためには、自分から英語を使う環境に飛び込むしかないと考え、学内外のイベントに積極的に参加するようになりました。最初は会話についていけないこともありましたが、何度も英語を使って人と話すうちに、少しずつ英語で話すことへの抵抗がなくなっていました。さらに、スタートアップ関連のイベントにもボランティアとして参加し、様々な国籍や専門分野を持つ方々と交流しました。こうした経験を通して、英語力だけでなく、自分から人に話しかけ、新しい関係を築いていく積極性も身につけることができました。

また、留学生活の中で特に恵まれていたと感じるのが、ルームメイトとの環境です。私の部屋は、私を含めて全員が異なる国籍・学部だったため、毎日の生活の中で自然と様々な考え方に触れることができました。私はビジネスを専攻していましたが、ルームメイトには IT 系の学部で学んでいる学生もおり、自分の専門分野だけでは得られない視点を知ることができました。また、ルームメイトを通じて新しい友人とも知り合うことができ、徐々に交友関係が広がっていきました。

特にセカンドセメスターは、私の人生の中でも最も楽しい時間の一つになりました。私はこれまで、異なる国籍の人たちと 6 人ほどのグループになり、毎日のように一緒に過ごすという経験をしたことがありませんでした。しかし留学中には、私を含めて 6 人の多国籍なグループで非常に仲良くなり、授業がない日や休日にも頻繁に集まるようになりました。私以外のメンバーは主に IT 系の学部だったため、授業が一緒になることはほとんどありませんでしたが、それでも授業以外の時間を一緒に過ごすことで、国籍や専攻を超えた強い友情を築くことができました。人生でこれほど親しくなれる仲間に出会えたことは、留学生活で得た大きな財産だと感じています。

さらに、留学生だけではなく、現地のフィンランド人とも積極的に交流しました。留学生同士で交友関係が完結することも多い中、私はイベントや友人とのつながりを通して、現地の学生とも友達になることができました。実際にフィンランド人と過ごすことで、授業や教科書だけでは分からない現地の文化や生活、価値観を知ることができました。

この留学を通して、私は英語力や異文化理解だけでなく、自分自身の考え方も大きく変わりました。留学前は、英語が上手でなければ積極的に人と関わることは難しいと思っていました。しかし、実際には完璧な英語を話せなくても、相手に興味を持ち、自分から一歩踏み出すことで人との関係を築くことができると分かりました。また、自分とは異なる国籍や専門分野を持つ人と毎日過ごすことで、自分にとっての「当たり前」が他の人にとっては当たり前ではないことにも気づきました。

留学生活では、最初の３か月は苦労しましたが、その経験があったからこそ、自分から行動することの大切さを強く実感できました。そして、最高の友人たちに出会い、多くの新しい価値観に触れることができました。今後も、慣れない環境や難しいことに直面した際には、最初から完璧にできるかを考えて立ち止まるのではなく、まず自分から行動し、経験しながら成長していきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学経験を、今後の大学生活や将来の仕事に活かしていきたいと考えています。留学を通して、英語力だけでなく、異なる価値観を持つ人と関わる力や、慣れない環境でも自分から行動する力を身につけることができました。特に、最初の 3 か月間は英語でのコミュニケーションに苦労しましたが、イベントに参加したり、ルームメイトと毎日話したりすることで、少しずつ自分から人と関わるができるようになりました。この経験から、できないことを理由に行動を止めるのではなく、まず挑戦してみるものの大切さを学びました。今後は、留学中に身につけた積極性を大学生活でもさらに伸ばしていきたいです。これまで以上に様々な国籍や考え方を持つ人と関わり、自分とは異なる視点を積極的に取り入れていきたいと考えています。また、大学で学んでいる経営学や国際経営についても、海外で実際に経験したと結びつけながら学びを深めていきたいです。特に、多様な人材が働く企業では、どのようにすれば一人ひとりが自分の能力を発揮できるのかという人的資源管理に関心があります。

将来は、今回の留学で得た異文化理解やコミュニケーション力を活かし、多様なバックグラウンドを持つ人々が互いの違いを活かしながら働ける環境づくりに関わりたいです。そのためにも、今後は海外での経験を一度きりの思い出にするのではなく、異なる価値観を理解する姿勢や、自ら行動して人との関係を築く力を継続して磨いていきたいです。そして、国籍や文化、専門分野などの違いを壁にするのではなく、新しいアイデアや価値を生み出す力として活かせる人材になりたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

これから留学をする皆さんには、最初から完璧にできることを目指すのではなく、分からないことや不安があっても、まずは自分から行動してみたいです。

私自身、留学したばかりの頃は英語でのコミュニケーションに苦労し、周りの留学生とうまく話せないことがありました。最初の 3 か月は、英語を話すことに自信がなく、自分から話しかけることをためらうことも多かったです。しかし、このままでは留学に意味がないと思い、学内外のイベントに積極的に参加するようにしました。最初は会話が続かなかったり、思うように英語が伝わらなかつたりしましたが、何度も挑戦するうちに少しずつ慣れていき、友人も増えていきました。

また、授業だけでなく、ルームメイトや現地の学生との交流も大切にしたいです。私は異なる国籍や学部のルームメイトと生活したことで、自分の専門分野だけでは得られない考え方に触れることができました。さらに、留学生だけでなくフィンランド人とも積極的に交流したことで、現地の文化や生活をより深く知ることができました。留学中は、英語がうまく話せないことや、友人ができないことに不安を感じる時期もあると思います。しかし、最初から完璧である必要はありません。失敗しても「次はどうすればよいか」を考え、少しずつ行動を変えていけば大丈夫です。ぜひ授業だけにとどまらず、イベントやボランティアなどにも積極的に参加して、自分から新しい人や経験に飛び込んでみてください。きっと、語学力だけでなく、自分自身の価値観や考え方まで大きく変わる経験になると思います。